

◆建設中・引き渡し後に発生した事故（建工、請賠、生産物）

| 事故概要  | 損害額     |
|---|---------|
| <b>(建設工事保険)</b>   |         |
| 住宅の建設工事現場で、押し入れ付近より出火した。原因不明。   | 2億2千万円  |
| 住宅の建設工事現場で、原因不明の火災が発生し、ほぼ全焼した。  | 8,000万円 |
| 建設中のビルの高層階で溶接作業中、溶接の火花が階下に飛んで、合わせガラス数百枚が損傷した。   | 3,800万円 |
| 住宅の建設工事現場で、2階キッチンの水栓と給水管の結びが未完成にもかかわらず、誤って水栓バルブを開いたため、階下に漏水した。                                  | 2,400万円 |
| ホテルの建設工事現場で、冷暖房用給水配管の通水テストをしていたところ、配管の接続部分が外れ、階下に漏水した。  | 2,100万円 |
| 天井の鉄骨の溶接作業中、溶接の火花が飛んで壁面ウレタンに着火した。   | 1,900万円 |
| 完成直前のマンションで火災が発生し、3、4階部分を焼損した。出火原因は、マンションに何者かが侵入し、延長コードを使用して電化製品を使用していたところ、コード部分から出火したものと推定される。 | 1,700千円 |
| 建物内で使用していたストーブの火が、気化した接着剤に引火。絨毯に燃え移り、2階部分を全焼した。   | 1,500万円 |
| 強風により、工事中の屋根材が飛散した。   | 1,300万円 |
| ビルの建設工事現場で、作業員詰め所として使用していたトレーラーハウスが全焼。たばこ火の不始末が原因。  | 740万円   |
| 完成直前のビルのガラス(熱線反射)ガラス数十枚に、長さ1m程度の切り傷があることを発見。何者かによるいたずらと推定される。                                   | 700万円   |
| 集中豪雨により、完成直前の住宅が数十cm浸水した。   | 700万円   |
| 旅館の建設工事現場で、客室用の鏡7枚を作業員1人で搬入中に、足を滑らせて階段上部から落下させる。  | 670万円   |
| <b>(請負賠償責任保険)</b>   |         |
| 解体作業中、コンクリート壁が下の国道歩道上に落下して、バス停付近にいた8人に重軽傷を負わせる。車等にも損害が発生した。                                     | 4,500万円 |
| 1999年。9階建てのビル建設工事現場で、9階から足場の鉄板(約17kg)が落下し、工事現場前の道路を歩いていた人を直撃し重傷を負わせる。                           |         |
| <b>(生産物賠償責任保険)</b>  |         |
| 引き渡し終了後、ビルの給排水管の継ぎ手部分が外れ、階下に漏水した。   | 1,000万円 |
| 1999年。工事業者が風呂釜の吸気管と排気管を誤って接続。後日、親子2人が一酸化炭素中毒で死亡した。  |         |

以上